

鶏肉情勢

平成31年4月2日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
1. 国内	<p>(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会3月下旬実施)によると、2月の推計実績は、処理羽数55,737千羽(前年比102.4%)・処理重量165.1千ト(同101.5%)と前年を上回った。処理重量が南九州地区(同99.3%)・関東地区(同99.6%)で大腸菌症等の疾病や増体の悪化等で前年を下回ったものの、北海道・東北地区(同104.6%)、中部地区(同106.6%)でカバーしたかたちとなった。なお、2月の生鳥処分は廃棄合計3.85%(前年差+0.28%)と増加したものの、前月比では各項目とも減少した。</p> <p>(2) 3月~5月で、3月の処理羽数は60,565千羽(同99.8%)・処理重量179.4千ト(同99.5%)と、前年に比べ日曜日が1日多く稼働日数が減ることもあり若干減少の計画となっている。4月は逆に前年より日曜日が1日少ないこともあり、処理羽数59,672千羽(同103.5%)・処理重量177.6千ト(同102.6%)と前年を上回る計画となっている。産地の増産意欲が強く一日当たりでは処理羽数も増えており、生育状況が順調であればゴールデンウィークに向けて出荷が増えたとみられ、今後の消費動向次第では供給過多も懸念される。</p>
2. 輸入	<p>(1) 財務省が3月28日公表した貿易統計によると、2月の鶏肉(原料肉)輸入量は41.46千ト(前年比88.8%)で、日本食肉輸出協会(44.8千ト)より下振れした結果となった。国別ではブラジル32.1千ト(同92.2%)・タイ8.38千ト(同79.0%)と主要2か国が共に減少した。同協会公表によると3月39.5千ト(同90.9%)・4月42.0千ト(同84.7%)と予測されており、「ブラジル産は大手の供給が増えていないなかで、対日向けの船積み数量が不明で、価格の変動も読み切れない状況。タイ産は中国向け生産が増えている。今後の為替の動きや中国市場の動きに引き続き注視する必要がある。」とコメントしている。一方価格について、ブラジル産は4~6月船積み分の調達コストは300円/kgを超えているされ、タイ産価格についても中国向けの需要拡大で上昇している。</p> <p>(2) 鶏肉調整品の2月輸入量は35.41千ト(前年比95.6%)と大きく減少した。例年2月は年度末を控え減少傾向ではあるが、平成29年2月(27.5千ト)以来36千トを下回る結果となった。タイ産が24.28千ト(同108.1%)と増加基調であるが、中国産は10.75千ト(同75.0%)と大幅に減少しているが、アフリカ豚コレラの影響で国内消費に向いている可能性もある。</p>
1. 家計消費	<p>(1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、1月は、全国一世帯当たりの3畜種消費(購入)数量は3,848g(前年比104.1%)と前年を上回ったが金額は5,750円(同99.6%)と4か月連続で下回った。牛肉は安価な輸入牛が堅調に推移。豚肉・鶏肉はともに相場安で金額が減少。特に鶏肉は数量1,429g(同103.4%)・金額1,348円(同97.0%)となり、量販店等で特売等の価格訴求も消費者に響きづらいとの声が上がっている。また大分市が、H28年~30年平均の都市別鶏肉消費ランキング(総務省まとめ)で数量20,693g・金額19,703円で共に1位となった。</p>
	<p>(1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、2月の畜産部門の売上高は9,585億円で全店ベース前年比0.6%減で既存店ベースでも同1.8%減少し不調としている。「前年より気温が高く、鍋物用を中心に動きが悪かった。牛肉は焼肉やステーキ用など焼きメニューが堅調であるが、和牛と輸入牛に消費が二極化する傾向がみられた。豚肉は相場が下落傾向にあり販売数量が好調となった店舗が多いが、豚コレラ発生の影響を受けた地域もあった。鶏肉は前年並み、ハムやソーセージなどの加工肉はやや持ち直しをみせた店舗もみられた。」との報告がなされた。また、カテゴリ別でも全部門が厳しい状況ではあり、惣菜・水産部門が健闘しているもののやや不調となっている。</p>
	<p>(1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる1月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比111.7%の4.4千ト。うち国内物は同102.5%の3.4千トと前年を上回り、輸入物も同156.0%の1.1千トと報告された。輸入物がサラダチキン向け等の需要が堅調で比率が24.1%と着実に伸びてきた。今後春夏シーズンに向け国産むね肉価格が比較的低位で安定していることや、国産志向や味の面から国産むね肉での製造も増加がする傾向にある。</p>
1. 31年1月	<p>(1) 推計期末在庫は国産27.5千ト(前年比97.4%・前月差+1.4千ト)、輸入品134.7千ト(同89.4%・同+1.4千ト)と合計で162.1千ト(同90.6%・同+2.7千ト)となった。生産量が16.2千ト減少し、輸入量も5.0千ト減少したが、国産品の出回りが生産量を下回ったため、国産品の在庫が増加した。輸入品も出回りが10.8千ト減少の40.6千トとなったため、前月比微増となったが前年比でみると89.4%と大幅減少となった。</p>
	<p>(1) 2月は国内生産量が前月比で8.3千ト減少、輸入量も約2千ト減少。1月に比べ出回りが減少が見込まれるため、期末在庫は約159千ト弱との見通しとなっている。</p> <p>(2) (独)農畜産業振興機構の需給予測では、3月は前月比で生産量が11.4千ト増加し、輸入量はブラジル中心に1千ト減少、出回りが21.3千ト増加することから、期末在庫は国産・輸入品合計で14.1千ト減少の144.8千ト。4月は生産量が1.7千ト減少するものの、輸入量がブラジル中心に2.5千ト増加し、出回りが1.5千ト減少するも、在庫は11.8千ト減少の133.0千ト(前年比77.9%)とされている。</p>
1. 3月動向	<p>(1) 3月の平均相場は、もも肉628円/kg(前月比22円下げ)・むね肉238円/kg(同18円下げ)、正肉合計で866円/kgと前月比40円下げで、前年比でも76円の下げとなった。3月は北日本以外は気温も高めで、鍋物需要も影を潜め鶏肉の引合いも弱く、もも肉は大幅な下げとなった。むね肉も、量販店等で安価な豚肉の出回り等で特売需要が減少したこと等もありジリ安の展開となった。</p>
2. 4月見通	<p>(1) 天気予報では、4月は北・東北地方が例年より気温が低めで若干の鍋物需要も期待できるため前半は持ち合い傾向となり、後半はゴールデンウィークも控え唐揚げ需要も期待できることから大幅な下げは考え難く、もも肉は月平均610円と予測する。むね肉についても、下げ基調ではあるものの需要は底堅く月平均240円と予測する。</p>

実績

生産状況

単位:千羽、千トン、%

	H31年2月推計実績		H31年3月計画		H31年4月計画		H31年5月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	58,532	102.9%	61,875	99.0%	61,584	104.6%	61,362	102.3%
処理羽数	55,737	102.4%	60,565	99.8%	59,672	103.5%	59,558	100.6%
処理重量	165.1	101.5%	179.4	99.5%	177.6	102.6%	178.1	100.4%

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」

輸入動向

単位:千トン、%

履歴	鶏肉			調製品			合計			比率	
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
H30年11月	43.2	57.1	75.7	50.0	46.5	107.5	93.2	103.6	89.9	46.3	53.7
H30年12月	47.0	46.5	101.1	46.1	48.1	95.8	93.1	94.6	98.4	50.5	49.5
H31年1月	42.0	48.3	86.9	42.4	41.8	101.3	84.4	90.1	93.6	49.8	50.2
H31年2月	41.5	46.7	88.8	35.4	37.0	95.6	76.9	83.7	91.8	53.9	46.1
H31年累計	83.4	95.0	87.9	77.8	78.9	98.6	161.2	173.9	92.7	51.7	48.3

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞

消費動向(2人以上の世帯)

単位:グラム、円、%

履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年11月	1,461	1,443	101.2	1,339	1,387	96.5
H30年12月	1,765	1,640	107.6	1,665	1,728	96.4
H31年1月	1,429	1,382	103.4	1,348	1,389	97.0
H30年平均	1,373	1,359	101.0	1,292	1,318	98.0

※参考資料:総務省統計局HP

相場(年別・暦年)

単位:円

	もも肉	むね肉	計
H25年	583	246	829
H26年	626	294	920
H27年	639	336	975
H28年	621	255	876
H29年	626	315	941
H30年	595	282	877

在庫状況

単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年10月	28.9	26.8	107.8	137.8	144.5	95.4	166.8	171.3	97.3
H30年11月	28.4	27.3	104.1	137.8	150.9	91.3	166.2	178.2	93.2
H30年12月	26.1	26.8	97.1	133.3	140.7	94.7	159.4	167.6	95.1
H31年1月	27.5	28.2	97.4	134.7	150.7	89.4	162.1	178.9	90.6

※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構

相場(月別)

単位:円、%

履歴	もも肉			むね肉			正肉合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年12月	618	644	96.0	279	318	87.7	897	962	93.2
H31年1月	648	673	96.3	271	312	86.9	919	985	93.3
H31年2月	650	663	98.0	256	304	84.2	906	967	93.7
H31年3月	628	637	98.6	238	305	78.0	866	942	91.9
H31年4月	(610)	608	100.3	(240)	295	81.4	(850)	903	94.1
H31年5月	(600)	585	102.6	(240)	282	85.1	(840)	867	96.9
H31年平均	642	658	97.6	255	307	83.1	897	965	93.0

※()は見通し
※1~3月平均